

平成25年度「提案公募型事業」  
実績報告書Ⅱ

【団体・事業名等】※ この実績報告書Ⅱは公開されます。

ふりがな 団体名	クラリネット・スピリト（くらりねっと すぴりと）
ふりがな 代表者名	小松孝文（こまつ たかふみ）
募集期間 （該当を○で囲む）	○第1期 / 第2期
事業の分野・テーマ （該当に●印・複数可）	<input type="checkbox"/> 【○】 心地よく安心な港まちで暮らす
	<input checked="" type="checkbox"/> 【△】 魅力的でにぎやかな港まちに集う
	<input type="checkbox"/> 【□】 みんなと港まちを創る
提案事業名	

【委託契約金額・総支出合計・事業実施期間】

委託契約金額	2	0	3	6	8	0	円
総支出合計 （収支結果）	2	0	3	2	7	6	円
期間 （準備～事業終了日）	平成25年6月1日 ～ 平成25年8月11日						

【組織等の状況】

事業に携わったスタッフ数	6名	うち、無償ボランティアスタッフ	0名
本事業による新たなスタッフの増加	あり・なし ※いずれかに○印を付けて下さい。		

【事業実績】

※(3)～(5)は、受託申請書の内容のコピーではなく、必ず実施した実績に基づいて記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

クラリネット愛好家の集う音楽的な場を名古屋港ポートハウスに作る。  
また、「ゆかた de」の名称や「ワークショップ」を企画し、ひろく一般に対してもクラリネット音楽に親しめる場にして行きたい。  
そして、この企画を通して文化的な港のイメージを発信したい。

(2) 事業の概要

2013年8月11日（日）午後1時より午後2時30分、名古屋港ポートハウス「しおかぜコンサート」にて「ゆかた de 扉音コンサート in 港 Special」をクラリネット・スピリトによる演奏で開催した。

## (3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、参加者等〕

## 1. 実施した事業の内容

出演者：クラリネット・スピリト

小松孝文、つつみあつき、小出紀仁、加藤千晴、山崎直子、小林純子

ソプラノ・クラリネット5名、バス・クラリネット1名で、2重奏から6重奏の演奏を行った。

第1部 <クラリネットで奏でるクラシックの名曲>

序曲 [天国と地獄] / オッフエンバック作曲 つつみあつき編曲 (5重奏)

カントリー・ソング / D・カプラン作曲 (4重奏)

サウザン・ワルツ / C・レオニ作曲 (4重奏)

愛の喜び / マルティヌー作曲 (2重奏)

虹の彼方に / H・アーレン作曲 (2重奏)

花のワルツ パレエ組曲「くるみ割り人形」より / チャイコフスキー作曲 つつみあつき編曲 (6重奏)

第2部 <懐かしのメロディー> (6重奏)

アメリカン パトロール / ミーチャム作曲

赤いスイートピー / 呉田軽徳作曲 つつみあつき編曲

ピンクレディー メドレー / 都倉俊一作曲 つつみあつき 編曲

風になりたい / 宮沢和史作曲 つつみあつき編曲

翼をください / 村井邦彦作曲 つつみあつき編曲

懐かしき夏の歌メドレー / 文部省唱歌 / 小塚憲二

第3部 <ワークショップ> (6重奏) クラリネットってどこからどうして音がでるのかな？

だんだん小さく / シュライナー作曲 つつみあつき編曲

楽器を分解してクラリネットの仕組みと発音部分を楽しく紹介した。また、ストロー笛を制作し、クラリネットと同じ発音原理を体験し、よりクラリネットに親しむ場を作った。

<アンコール>

上を向いて歩こう / 中村八大 つつみあつき編曲

ラデツキーマーチ / ヨハン / シュトラウス作曲

## 2. 実施日・実施場所

8月11日(日曜日) 午後1時開演 午後2時30分終演

名古屋港ポートハウス(無料休憩所にて)

## 3. 参加者人数・参加者層

約200名

プログラム誌を183名に配布プログラム誌を受け取らなかった入場客がいたため、実数は不明だが、おおよそ200名以上と考えられる。

参加者層 アンケート結果より：183部配布中56部を回収 回収率約31%

地域 西築地地区：5%、港区内：14%、名古屋市内：70%、その他：11%

性別 男性：約50% 女性：約50%

年齢 中高生：19% 大学生：3% 20代：7% 40代：7%

40代：1% 50代：7% 60代：28% 70代：21%

#### (4) 実施した広報活動

##### チラシ配布

7月11日頃 西築地地区回覧板にて回覧。

7月11日 名古屋市内文化施設20カ所に各々30部チラシを配布

7月19日 中日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、名古屋タイムズ社、中日スポーツ社に情報提供。

7月27日頃 名古屋市文化振興事業団友の会会報に折り込み配布2500部。

8月2日 名古屋市内吹奏楽部顧問宛、去年の参加者、クラリネット協会関係者に案内状を発送(210通)

中日新聞社名古屋市内版に案内記事掲載。

#### (5) 実施した事業のスケジュール(準備～実施～実施後 の実施運営スケジュール)

6月3日 実施要領の打合せ。

6月12日 印刷物制作打合せ、練習

6月19日 選曲作業と練習

6月26日 印刷物発注準備と練習

6月29日 印刷物発注

7月10日 チラシ完成

7月11日 チラシ配布、マスコミ等への案内発送準備

7月17日 練習、案内発送手配

8月2日 練習、案内発送

8月7日 練習、プログラム誌アンケート制作

8月10日 練習、当日確認

8月11日 公演

8月26日 反省会 報告書制作

#### (6) 実施した事業の運営体制(スタッフや委託外注の活用などによる運営体制、地域との連携など)

舞台監督：福田音楽事務所へ発注、福田裕之氏が担当

受付、会場整備、聴衆誘導アルバイト：堤久美子、堤愛賀

クラリネット・スピリトメンバーも会場整備等に携わった。

(7) 当団体における今後の事業の方向性

今後の事業の方向性 ※該当する番号に丸印	◎	今回の委託事業を発展させる
		現状のまま事業を継続する
		事業を終了する
		その他
その理由	2012年の企画の一般参加者から希望する声が、今回多数ありクラリネット・オーケストラ（クラリネットの太合奏）など、参加型の企画を検討したい。	
次年度の提案公募事業への応募について ※該当する番号に丸印	◎	今回の事業で応募を検討している
		新しい事業で応募を検討している
		応募しない
		未定

※ チラシ・ポスター・冊子などの成果物、ホームページや広報媒体への掲載内容がわかるもの、取材を受けた場合はその記事のコピーの添付をお願いします。

自己評価の目安

1. ①～⑥について、総合評価と各項目に対する点数(右記1～5の5段階)を記入し、その理由および今後の課題等をコメント欄に記入してください。また、総括についてコメントを記入してください。

点数	評価
5	非常によくできた
4	よくできた
3	まあまあできた
2	あまりできなかった
1	できなかった

1	事業準備・実施はスムーズであったか。 <input type="checkbox"/> 多様なケースを想定した十分な準備ができたか。 <input type="checkbox"/> 円滑に遅滞なく実施できたか。 <input type="checkbox"/> スタッフや関係者と協力できたか。	
	[点数4]	当日の運営、集客等は円滑にすることが出来た。特に客席は聴衆に恵まれ、クラシック音楽専用ホールのような雰囲気の中で開催することが出来た。しかし、座席を工夫できればさらに入場者を望めたと考えられる。
2	経費の支出は適切に行うことができたか。 <input type="checkbox"/> 事業の内容に見合った支出であったか。 <input type="checkbox"/> 公金を使用するという意識はあったか。 <input type="checkbox"/> 適切に経費管理をし、報告をすることができたか。	
	[点数4]	コストパフォーマンスは聴衆当たり 1000 円以下と概算できるので優れた企画と自負している。しかし、事務経費等を少なく見積もったため、メンバーには負担を強い事となった。
3	一部の人の利益だけでなく、広く地域・社会に利益を及ぼすことができたか。	
	[点数5]	無料休憩所での開催により、一般のクラシック音楽会より遥かに入場のしやすさがあったと考えられる。特にクラリネットに特化した演奏会をひろく一般に広めた事は意義深いと考えられる。また、名古屋港からの音楽文化の発信をアピールすることも出来たと期待し、今後の活動にさらに取り組んでいきたい。
4	広く港まちの住民の方々、および港まちに集うの方々にとって実施の意義が感じられ、具体的な効果・成果を生み出すことができたか。	
	[点数5]	アンケートの結果より、参加者の約20%が港区内からの来場者と考えられます。また、内容に対しても非常に好意的で、次回の参加も期待できる回答が多く寄せられました。
5	当初選択した「心地よく安心な港まちで暮らす」、「魅力的でにぎやかな港まちに集う」、または「みんなとまちを創る」の3つのテーマを実現する事業となったか。	
	[点数5]	アンケートの結果や、お客様からの声を聴くと非常に好意的で、来年も楽しみにしたいとの声を沢山頂きました。このような形で港の施設を活用できた事、港内でのクラシック音楽演奏会で観客動員(200名以上)を実現できたことから、「魅力的でにぎやかな港まちに集う」のテーマに合致し、成功したと考えています。
6	今後、港まちづくり協議会との連携をイメージできる事業となったか。	
	[点数5]	アンケートのコメントに「もっとクラシックの作品を演奏して欲しい」との声もあり、港でのクラシック音楽の認知を実感することが出来、本企画の将来性を強く感じました。

2. 事業を実施して見えた課題やその対応策・改善策を記入してください。

(1) どのような課題がみつかりましたか

20・30歳代の聴衆の割合が比較的少なかった。  
現状でほぼ客席が埋まっていたため、会場客席数が不足する事が将来予想された。  
準備期間が短く、特に地元への広報活動が充分ではなかったと考えられる。  
また、参加型演奏会の企画に取り組むためには、半年以上の準備、告知広報期間が必要なため大きな課題と考えている。

(2) (1) に対して、どのような対応策や改善策を考えていますか

20歳代の聴衆は、コアなクラリネット音楽愛好家を取り込みやすいと考えられるので、より芸術性の高いプログラムを取り入れて演奏会の魅力をアップしたい。また、参加型の企画はよりこの年代にアピールできると考えられるので是非、再チャレンジしたい。  
30歳代の聴衆は、小さなお子様を伴ったファミリー層が中心と考えられるので、今回の様なワークショップをさらに工夫拡大し、家族層にアピールできるプログラムを取り入れたい。  
座席数に関しては、舞台に向いていない椅子が使用されていないので、向きを変える等レイアウトを工夫して使用可能な座席数を増やしたい。  
準備期間の問題は検討すべき所が多々あるため、企画者だけの解決は無理と考えられる。関係各所との関係を深め協力を得られるように勤めたい。

3. 今回実施した事業について振り返った総括を記入してください。

たくさんの良い観客に恵まれ、クラシック音楽専用ホールの様な雰囲気の中で盛況に演奏会を開催することが出来ました。

今回は前回以上に地元からの動員数も多く、この企画が定着する可能性を感じました。次回には是非、地元の小学生や中高生の参加を多くできるように企画・運営を工夫して取り組みたいと思います。

演奏内容に関しては、純クラシック音楽の演目も受け入れられ、歌謡曲のプログラムも好評を得ることが出来ました。

また、あたりに企画した<ワークショップ>は実験的な部分が多かったのですが、客席からの参加も容易く得られ成功することが出来ました。今後もこの企画に積極的に取り組んでいきます。

準備期間については問題が多く、今後の大きな課題です。  
特に参加型の企画の場合には開催日のすくなくとも半年前から告知を始めたいと考えています。



事業の実績を示す写真を、必ず3枚以上貼付し、写真についての簡単な説明を記入してください。  
 (デジカメからの印刷物でも可)  
 なお、本用紙が足りない場合は、本用紙を複写して使用して下さい。



会場全景



演奏の様子 窓の外の緑が美しかった。



客席後方より



「だんだん小さく」演奏



<ワークショップ> ストロー笛を作り楽器体験。

団体名	クラリネット・スピリト	写真貼付用紙全	1	枚中	1	枚目
-----	-------------	---------	---	----	---	----



(本紙に記入の上、証拠となる領収書等を領収書等貼付用紙に貼付して下さい。)

※各支出の明細は、(様式5)支出一覧表に記載してください。

※領収書等は、項目別に通し番号を記入の上「領収書等貼付用紙」へ項目毎に貼付し、項目合計金額を記入して下さい。通し番号の例:(1)-1、(1)-2、(1)-3…

※支払証明書の金額が該当する項目は、支払証明書の項目を記入して下さい。

記入例:支払証明書(交通費実費)

支 出				
項 目	予算額(円) A	決算額(円) B	予算比 B/A	領収証通し番号 支払証明書項目
(1)外部講師謝金			%	
(2)旅費交通費	7,680	8,260	107.5%	領収書 No1、2 項目② 支払証明書 項目②2-6
(3)会議費	12,000	12,000	100%	領収書 No3 項目③
(4)物品購入費			%	
(5)借上料			%	
(6)保険料			%	
(7)人件費	117,000	117,000	100%	支払証明書 項目⑦1-6
(8)委託外注費	27,000	27,000	100%	領収書 No4、5、6 項目⑧
(9)通信費	20,000	18,320	91.6%	領収書 No7、8、9、10、 11 項目⑨
(10)印刷製本費	19,000	19,700	104%	支払証明書 項目⑩1
(11)事務費等	1,000	996	99.6%	領収書 No12 項目⑪
(合計)支出合計	203,680	203,276	99.8%	

※各項目単位で20%を超える変動があった場合は、本報告書提出前に必ず港まちづくり協議会事務局までお電話にてご連絡下さい。(電話:052-654-8911)

様式3の「予算変更額理由書」の届出及び港まちづくり協議会の承認が必要となります。

※参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当された品目は入れないでください。

参加費で充当された品目は、9ページの【徴収された参加費に相当する事業費の収支結果】に計上してください。